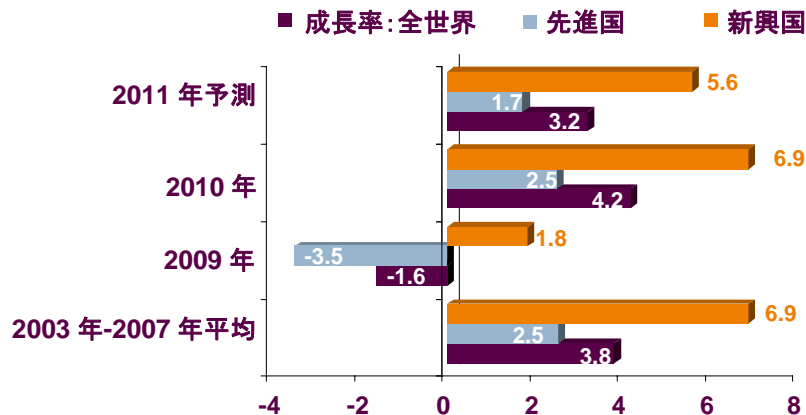


## コファスは一連の格付けの引き下げを発表し、 カントリーリスクの高まりを警告

注意：コファスの国別格付けは公的債務を対象とするものではなく、商取引における企業の平均リスクレベルを示しています。この平均値の推移は、それぞれ固有の特徴により決定される各企業の格付けを示唆するものではありません。よって、上記の国または地域に取引先を持つ企業は、コファスによるそれぞれの企業格付けを確認されることを強くお勧めします。

2010年に多くの国の格付けを引き上げたが、コファスでは今回、日本と中東・北アフリカ諸国を含む10カ国の格付けを引き下げた。

コファスでは、日本の震災および北アフリカ・中東の情勢を反映し、2011年の世界の成長率予測を3.4%から3.2%に下げたものの、経済情勢は引き続き上昇傾向にある。



### ● 日本における経済ショック

3月の大災害によりコファスは格付けA1の日本をネガティブウォッチの対象にした。日本は2010年に3.9%の回復を見せたものの、2011年の成長率予測は1.5%から0.3%に引き下げられた。

経済ショックはまず、日本の成長の牽引力である輸出にダメージを与えるだろう。停電で、震災の被害を受けた地域、そして工業地域の生産活動が長期的な影響を受けるものと思われる。資金力の乏しい中小の下請け会社が特に大きな影響を受けるだろう。

現段階でこれらが世界経済に与える影響を査定するのは難しいが、日本が中心的な役割を果たしている世界の生産工程、特に自動車産業やエレクトロニクス産業に影響が出ると予測している。

コファスのメインシナリオでは、回復は最も早くても第3四半期になるものと思われる。回復は復興への取り組みと消費者マインドの改善に牽引されるだろう。

- **ユーロ圏の成長にソブリン危機が暗雲を投げかける**

ユーロ圏はソブリン危機の影響で、2010年の1.8%から、2011年は1.3%へと成長が鈍化するだろう。しかし、ほとんどの欧州諸国の格付けに変更はない。例外は、**ポルトガル(A4に格下げ)**とギリシャ債務の影響が大きかった**キプロス(A3に格下げ)**のみである。ポルトガルは、政治危機に直面しEUに財政援助を申し入れたが、今年も景気後退から脱することは出来ないだろう(-1.3%)。ポルトガルの企業はキャッシュフロー率が低く、信用の獲得に苦勞するものと思われる。

ユーロ圏外では、**英国(A3、ポジティブウォッチの対象から除外)**で、思い切った緊縮政策と高インフレが消費者マインドを湿らせるだろう。製造会社は投入原価の高騰で利益が減少すると予測される。

- **北アフリカ・中東諸国はネガティブウォッチの対象に**

中東および北アフリカの政情不安は経済活動に影響を与え、国家財政の不均衡を悪化させるとともに外貨収入を減少させるだろう。コファスは、**チュニジア(A4▼)**と**エジプト(B▼)**をネガティブウォッチの対象とすることを決めた。両国が現在直面している政治的緊張は短期的に両国の立場を不安定なものにしている。**シリアの格付け(C▼)**も、事業環境の悪さが政治問題化しつつあるため、ネガティブウォッチの対象となっている。

**リビア**では少なくとも経済活動が15%の大きな落ち込みとなることが予想されているが、同国の格付けはDに引き下げられた。

- **原油価格の上昇が世界中の経済活動に影響**

コファスは、石油輸出国の社会政治的緊張と、世界第三位の石油輸入国である日本の復興の取り組みが原油価格を高騰させるものと予想する。2011年には、ブレント原油価格は2010年の1バレル100ドルから25%値上がりするだろう。これにより、主要な石油輸入国のGDP成長率が0.1ポイントから0.2ポイント押し下げられるだろう：米国(2011年成長率2.5%)、ドイツ(2.3%)、英国(1%)、韓国(3.5%)。

これらを鑑み、コファスは世界の成長率予測を**3.4%から3.2%に下方修正**した(先進国は1.7%、新興国は5.6%)。2010年の成長率は4.2%だった。これらの予測は、長引くユーロ圏のソブリン債務危機と、新興国、特に景気過熱を抑制する政策を導入したアジア諸国の成長鈍化を織り込んでいる。

コファスのチーフエコノミスト、Yves Zlotowski(イヴ・ズロトスキー)は、「去年一年間は著しい回復を見せたが、今年、第1四半期に起こった政治的激変と自然災害により、グローバルリスクが高まっている。景気悪化は新興国にも影響を及ぼす。景気回復は続くであろうが、そのペースは、より緩やかなものになる。」と述べた。

**本リリースに関するお問合せ先：** コファス・サービス・ジャパン株式会社 広報担当 ジョナタン・ペレズ  
Tel: 03-5521-2175 / Fax: 03-5521-2179 / メール: [jonathan.perez@coface.com](mailto:jonathan.perez@coface.com)

■コファスとは

フランス国営の貿易保険会社として1946年にスタートして以来、民営化、国際化を進め、現在世界100カ国以上130,000社のお客様に取引信用保険、企業信用情報、売掛債権管理、売掛債権買取(ファクタリング)の4つを基幹事業としサービスを提供しております。日本におきましては1995年に業務を開始し、現在コファスジャパン信用保険会社(Coface Japan)、コファス・ジャパン・ファイナンス株式会社(Coface Japan Finance)、コファス・サービス・ジャパン株式会社(Coface Services Japan)の3社を設け、お客様のマーケティング・信用調査から売掛債権管理に至るまで、トータルソリューションを提供しております。

[www.coface.jp](http://www.coface.jp)

**別表**

**格付け変更**

	国	2010年12月	2011年3月変更後 (地域ごとにリスクの高い 国順)
ヨーロッパ	ポルトガル	A3↓	A4
	英国	A3↗	A3
	キプロス	A2↓	A3
アジア	日本	A1	A1↓
	ベトナム	B↓	C
中東・アフリカ	バーレーン	A3	A4
	チュニジア	A4	A4↓
	エジプト	B	B↓
	シリア	C	C↓
	リビア	C	D

コファスのリスクマップがご覧いただけます([www.coface.jp](http://www.coface.jp))  
「オンラインアクセス」「Country Risk and Economic Research」(右側のバナー)  
の順にクリックして下さい。